

令和 3 年度事業報告

第1 概況

シルバー人材センター事業（以下「シルバー事業」という。）は高齢者に生きがいと働きがいを与え、活力ある地域社会の実現に大きな役割を果たしてきた。

また、少子高齢化の進展や労働力人口が減少する中、企業の定年年齢引き上げや令和 3 年 4 月からの改正高年齢者雇用安定法施行による 70 歳までの就業確保努力義務（65 歳までの就業確保義務）開始など高齢者が活躍できる環境の整備が図られてきた。

このような状況の中、県下のシルバー人材センター（以下、「センター」という。）では、就業を希望する高齢者(会員)が減少傾向にあり会員の確保に苦慮している。会員の拡大が喫緊の課題となっている。

また、一昨年来の新型コロナウイルス感染症の拡大という、いままでに経験したことのない事態により、シルバー事業も大きな影響を受け、会員離れ、就業機会の縮減といった根幹となる問題も顕著に現れ、目標に到達しない状況となっている。

県下の労働市場は、令和 4 年 3 月の有効求人倍率が 1.35 倍まで回復するなど、企業における求人意欲が徐々に高まり、明るいきざしも見えているものの、今後の新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響は予断を許さず、また業種による求人状況のばらつきも大きいため、決して安心できる状況ではない。また、新型コロナの影響により、派遣先からの受注減少、会員の就業辞退などが多く、一昨年に続き昨年度も売り上げ減少傾向がみられる。

受注面では、令和 4 年 3 月末現在での請負による契約金額は約 46 億円程度で、前年度比▲0.1%とほぼ横ばいとなっている。しかし、派遣での契約金額は約 10 億 9 千 179 万円、前年度比▲4.1%となっており、足元では回復傾向が見られるものの、通年では 2 年連続の減少となっている。

新規会員の拡大については、各センターが最優先課題として取組みを行い、連合会では県下全域を対象として、広告掲載、チラシ配布などの周知広報活動を行った。また、ハローワークにおける求職者へのシルバー事業の情報提供や就業情報の配布など、行政の協力を得るなどして会員増加への支援を行った。

しかしながら、これらの取組みを行っても令和 4 年 3 月末の会員数は 10,453 名と、令和 3 年度期首に比べ 308 名の減少となった。

一方、安全衛生および法令順守への対応として、飛石防止草刈機安全講習および派遣事業安全衛生業務集中化を計画的に実施し、従前からの課題解決に一步を踏み出すことができた。しかし、シルバー事業紹介動画の更改について当年度

に実施できず令和 4 年度に先送りとなったうえ、インボイス制度への具体的対応策定など、クリアすべき課題も多い。

このような現状を踏まえ、中でも特に減少した派遣売上については、令和元年度の水準(コロナ発生前)を目標とし、その目標達成に向け、シルバー連合が連携を密にして取り組んでいく必要がある。

個別の事業実施状況は、次のとおりである。

第 2 事業実施状況

1 シルバー人材センター事業

(1) 安全就業及び適正就業推進事業

① 事故件数

重篤事故は 3 件となり昨年度比 6 件減少した。

② 三重県安全就業推進大会

令和 3 年 7 月 15 日 (16 センター・52 名参加)

③ 安全・適正就業パトロール

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

④ 安全・適正就業対策推進委員会

第 1 回 令和 3 年 6 月 22 日 (Zoom 併用会議)

第 2 回 令和 4 年 2 月 17 日 (Zoom 会議)

⑤ 適正就業にかかる請負・委任受注内容点検(全 27 センター)

適正就業の内容について理解が進んでいると判断できる。
一部書類不備などがあったため、是正内容を説明。

⑥ 飛石事故防止のための草刈機安全講習会

令和 3 年 12 月～令和 4 年 3 月末にて、7 センター実施。

他センターは令和 4 年度に継続して実施する。

(2) シルバー派遣事業

シルバー派遣を行う 15 センターのうち、9 センターについては、新型コロナウイルス感染防止の影響により地域の産業活動が低調となり、受注件数、契約金額とも前年度に比べ減少した。

① 派遣事業推進委員会

第 1 回 令和 3 年 10 月 13 日

第 2 回 令和 3 年 12 月 9 日

第 3 回 令和 4 年 3 月 24 日 (Zoom 会議)

主に下記②にある「安全衛生業務集中化」について討議実施。

②安全衛生業務集中化

産業医契約、安全衛生委員会、安全衛生規程制定など、派遣事業にかかる安全衛生業務を集中化し、令和4年4月1日より運用開始。

令和4年1月26日に対象センターあて説明会実施。

③派遣元責任者講習の受講

令和3年10月5日 大阪市、参加者8名（他会場7名）

(3) 普及啓発事業

① 広報誌「シルバーみえ」第39号の発行

令和3年12月 13,000部作成、配布。

② 会員募集チラシの作成、配布

三重県の協力を得て県内コンビニ、スーパーで配布。

新型コロナ感染防止措置のため、職員によるチラシ配布は中止。

③ 普及啓発促進月間(10月)および「シルバーの日」活動

三重県シルバーの日 …10月16日(土)とし、各センターで活動。

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動自粛センターあり)

④ 広報・会員募集活動

県内公共職業安定所内での会員募集チラシ、就業情報の掲示。

各公共職業安定所主催の高年齢者就職面接会での事業紹介、会員募集実施。

(4) 経験交流・研修事業

① 理事、事務局長、職員を対象とした分野別研修会

新任理事研修会 令和3年6月29日(Zoom研修)

事務局長研修会 令和3年8月3日

適正就業・業務担当研修会 令和3年8月19日(Zoom研修)

② 全シ協、東シ協主催の交流・研修参加推奨

安全就業指導員会議、福祉家事担当者会議、適正就業担当者会議、経験交流大会への参加推奨。

(5) 指導相談事業

三重労働局および三重県のセンター指導監査に立ち会い。

同時に三シ連としての個別指導を9センターに対して実施。

(6) 福祉・家事援助サービス事業

- ① 福祉・家事援助サービス月間(12月)
数センターにおいて活動実施。(コロナ影響による自粛センターあり)
- ② 高齢者活躍人材育成事業技能講習の場での普及啓発
- ③ シルバーいきいきフェスタ
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(7) 有料職業紹介事業

有料職業紹介実績はなし。

令和3年12月7日の講習会(大阪府)に4名が参加。

2 高齢者活躍人材確保育成事業

(1) 事業目標に対する結果

令和3年度事業目標値の新規入会者数62人に対して、73人の新規入会者数となり、目標を達成。

(2) 周知・広報活動

① ポスター掲載

拠点シルバー、ハローワーク、三重県運転免許センターなどに設置。

② 新聞・テレビコマーシャル等

就業者向け、および企業等の人事担当者向けに制作、配信。

③ セミナー開催

開催回数を1回、定員14名で開催。

(3) 就業体験、技能講習

7項目15会場で実施、受講者105名。(受講者アンケートを実施)

(4) 企業ニーズ把握

県内500社にアンケート実施、回答163社について情報展開。

以上